

■坂本竜馬 志士。維新に向けた運動の中で決定的な役割を果たすも、その実現目前に暗殺され、犯人は謎のまま。

さかもとりょうま

滑稽+人情本 1835＝ 高知城下で、富商〔才谷屋〕の分家町人郷士坂本八平の末子次男に生まれる。

大塩平八郎乱 1837＝ 2歳： 兄は20以上も年齢上で、すぐ上の姉乙女にかわいがられ、

天保改革終・1844＝ 9歳： 寝小便の泣き虫小僧で、甘ったれであったが、

阿部正弘首座 1845＝10歳：

孝明天皇・・・1846＝11歳：母が没すると、乙女が母がわりに竜馬の教育に乗り出す。突然目覚めて、

・・・1848＝13歳：道場入門、本格的に剣術の修業を始める。

ペリー来航・1853＝18歳：目録を伝授されるまでになって、江戸へ剣術修業に赴く。ペリー来航に直面して政治にも目ざめ、

桜田門外変・1860＝25歳：

遣欧使節・・・1861＝26歳：*武市瑞山が勤王党を結成するやただちにこれに加盟し、尊攘志士として活躍を開始。

生麦事件・・・1862＝27歳：*脱藩するや、勝海舟の下で、近代航海術を修業し、勝の下で神戸海軍操練所の塾頭になって、大久保忠寛、横井小楠、由利公正らとの交渉を深め、その政治思想を成長させるが、勝や大久保が幕府内で失脚したため、薩摩藩に依存せざるをえなくなり、

薩長同盟・・・1866＝31歳：*薩長同盟の成立に成功。「船中八策」をまとめ後藤象二郎に託す。

大政奉還・・・1867＝32歳：*さらに薩土盟約を実現させるための構想実現の途中、京都河原町蛸薬師の近江屋で、中岡慎太郎とともに暗殺された。幕府見廻組による説が有力とされるが、グラバーとの関係も含めて、謎が多い。